

熊本県立八代高等学校 令和6年度(2024年度)学校評価計画表(案)

<p>1 学校教育目標</p> <p>「令和6年度(2024年度)県立中学校・高等学校における教育指導の重点」及び「学校安全・安心推進課取組の重点」を基盤として本校の綱領である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「誠実にして真理を愛する」 To love truth, being sincere. ・「自律を旨として協和を重んずる」 To respect harmony, being self-determined. ・「闊達にして進取の氣象を尚ぶ」 To develop a spirit of enterprise, being broad-minded. <p>を教育理念の根底におき、生徒の知性と品性、豊かな感性と闊達な行動力を育むとともにグローバルな視野を切り拓く教育を実践する。</p>

<p>2 本年度の重点目標</p> <p>八代高校・八代中学校のさらなる魅力化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 確かな学力の土台となる授業力の向上(学びの深化) ② 豊かな人間性を育む多様な教育活動(自律と協働) ③ 世界とつながるグローバル人材の育成(進路の進化) ④ 地域との連携(高い情報発信力) ⑤ 生徒理解の促進(一日1人面談)

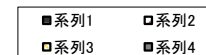
3 自己評価総括表						
評価項目		評価の観点	具体的目標	具体的方策	評価	成果と課題
大項目	小項目					
学校経営	グローバル人材育成	◇グローバルマインド並びにグローバルスキルの向上	○実践的英語発信能力の育成を図ると同時に、各種自己研鑽活動・社会貢献活動に自発的に参加する態度を育成する。 ○グローバルな視点をもって地域の発展に貢献するグローバル人材を育成する。	・即興型英語ディベートやイングリッシュ・キャンプ、海外語学研修等の実施、外国語学取得を推奨する。 ・グローバルアクション通信を発行し、自己研鑽活動等への参加奨励を行う。 ・進路指導部と連携し、各種講演会(グローバルアクションミーティング)等を実施する。 ・「探究(総合的な探究の時間)」において、SDGsの達成を目指した地域活動と課題研究を実現させる。	A	・7月に海外研修を実施。生徒32名参加(うち中3生2名)。英検受検者数(第2回まで)188名(R5は第2回まで147名)。生徒が積極的に外国語資格取得に挑戦した。 ・進路指導部が中心となってグローバルアクションミーディングを実施した。グローバル人材育成の取組を整理し、より効果的なものにする。 ・「総合的な探究の時間」では、八代市や熊本大学と連携し、内容を充実させることができた。外部連携による業務負担の軽減が課題である。
	情報発信	◇職員情報発信力の向上、並びに八代高校への志願者増加	○本校の教育活動や生徒の様子等をタイムリー、かつ、継続的に発信し、本校の魅力を伝える。 ○9月時点での本校志願者数が前年度と比べ増加している。	・全職員による八代高校魅力発信プロジェクトを計画、実行し、近隣中学校への訪問活動を行う。 ・HP掲載内容の刷新、SNSでの新着情報更新等、積極的な情報発信を行う。 ・学校説明会の内容(授業参観、模擬授業、概要説明等)を工夫し、参加者にとって魅力的な内容となるようにする。また、十分な周知期間を取る。	A	・八代高校魅力発信プロジェクトを実施。近隣中学校19校で本校の説明を行った。 ・R6.4月から12月までのホームページ記事掲載数は122件(R5同期間は124件)。探究活動の取組や、行事等の情報をタイムリーに発信できた。 ・学校説明会参加者357名(うち生徒280名)。体験授業が好評であった。また、部活動の多さに魅力を感じている様子も見られた。
	業務改善及び働き方改革の推進	◇勤務時間の適正管理 ◇業務の削減・効率化	○月の時間外在校等時間平均を前年度比で5ポイント削減する。 ○校務においてICTを活用し、配付資料や会議資料のペーパーレス化を進めたり、専門家を有効活用し、計画的に業務を遂行する。	・タイムカード等による勤務時間の適正管理等に加え、各分掌部部长や管理職による業務進捗管理を行う。 ・ゆうネットやGoogleアプリを活用した情報共有を推進し、業務効率化を進める。 ・SC、SSW、部活動指導員等の専門的人材を積極的に活用する。	B	・タイムカード等により在校時間を把握し、長時間勤務が認められる教職員には管理職による面談を行うとともに、必要に応じて産業医による面談を行った。 ・月の時間外在校等時間平均(4月～12月)は、昨年度48時間39分から今年度43時間39分になり、前年度比10.3%減少となった。 ・スクールカウンセラーの活用については12月までに計50件の相談等があった。 ・部活動指導員を3人配置し、生徒の技術の向上や教職員の負担軽減に成果を上げている。

学力向上	教師の指導力向上	◇思考力、表現力、判断力の育成、学びに向かう力や人間性の涵養を踏まえた授業改善	○生徒による授業評価において、思考や表現等を伴う主体的学習の充実、ICT活用等による「わかる授業」の実践についての評価の平均が3.2(4段階評価)を超える。	・授業力向上のための教科等研修会への参加を推進するとともに、本校所属のスーパーティーチャーの指導を受ける機会を提供する。 ・生徒による授業評価を年2回実施し、授業改善のPDCAサイクルを構築する。 ・職員間の公開授業週間を設定し、個々の授業改善につなげる。 ・職員の希望に応じ、ICTを利用した授業を行うための研修を行う。	B	・公開授業週間を年に2回設け、スーパーティーチャーの授業を受ける機会を提供した。また、教科毎に研究授業を行った。 ・各学期毎に授業評価を行い、ICTの活用が3.44、授業に集中できているの項目が3.51であった。 ・デジらく採点は多くの先生が使い、業務時間の短縮に繋がっている。
	生徒の自発的な学習の促進	◇授業と家庭学習における予習・復習を連動させた学習指導の展開	○学年ごとの目標学習時間を設定し、過半数の生徒が目標を達成する。	・各学年における適切な目標学習時間を設定する。 ・各教科において、週末課題など家庭学習の支援を行う。 ・朝の振り返りを実施し、家庭学習の指導に活用する。	B	・朝の振り返りシートを用いた家庭学習時間を改良し、生徒個人で自分のデータが分析できるようになった。学年の設定する学習時間に到達した学年が多かったが、宅習時間が低下した学年がある。
キャリア教育(進路指導)	生徒の進路観、職業観の育成と志望大学選択の指導	◇Googleドライブを活用した個人の成長記録を蓄積 ◇担任団や他部署との協働による進路指導	○将来の学び、社会での活躍場面まで考えさせ、志望大学決定のプロセスを充実させる。在学中本校のプログラムに積極的に参加させ、自己の成長を意識させる。	・低学年より一貫して成長をサポートする。知の触発プログラムの一環として講演会やワークショップを他部署と協力して実施する。	A	インターンシップを1学年に実施し、多くの生徒が参加した。グローバルアクションミーティングを企画し、生徒と職業人の座談会を実施した。生徒が主体的に学習について学べるグローバルアカデミックリサーチを1、2学年に企画・実施した。「進路の手引き」、「道」を通して、大学入試改革やポートフォリオ作成について情報を発信した。
	入試改革および新課程に対応する確かな学力を身につけさせる指導	◇6年間の進路指導グランドデザインの完遂 ◇職員の教科指導力向上と授業改革	○求められる学力を育成するための6年間の指導方針の完成。 ○他の部署、学年、教科と連携し、生徒が志を高く目標を設定し堅持する態勢を作る。	・入試改革関連の情報を提供し、進路を考えさせるための仕掛けを多様な形で実施する。 ・全職員が最新の入試動向を理解し、授業改革および教科の指導力向上に努める仕掛けを用意する。	A	3年生の総合型・学校推薦型選抜の志望理由書を全職員で担当することで、年内入試の指導について共通理解が得られた。各教科で大学入試問題分析を行い、最新の入試動向、生徒に求められる力について理解を深めた。学力分析会を企画し、模擬試験、スタディサプリ到達度テストの結果を分析、検討し、生徒の学力向上や進路意識の高揚に向けて方策を考えた。
生徒指導	自由と規律に基づく自律的な行動	◇自ら適切に判断し、行動しようとする態度の育成	○自己教育力を身につけ、常に5分前行動、挨拶の励行、服装・頭髪の整美ができる生徒を育成する。	・校則が見直され、全職員共通理解のもと、学年部と連携した指導を行う。 ・日頃から服装の整美、時間厳守、挨拶を自ら考え行動できるように指導する。	A	・社会環境や生徒の状況変化に応じて服装等に関する校則の見直しを行った。登下校時の服装は、生徒の実情や体感に応じた装いにすることにした。 ・時間厳守や挨拶については継続的な指導が必要である。
	生徒の危機管理能力の向上	◇交通マナー向上、交通事故の防止 ◇情報モラルに係る危機管理能力の向上	○今年度の交通事故件数を12件以下にする(R5年度15件)。 ○SNSが関係する問題事案をゼロにする。	・学校周辺の交通危険箇所を示し、マナーの向上と安全教育の徹底を図る。 ・ネットモラルと危機管理能力を向上させ、ネット上のいじめ等の問題事案をなくす。	A	・命に関わる交通事故はないが、車や自転車との軽微な接触事故が数件あった。スタントマンを活用した交通教室を開催した。 ・SNS上でのトラブルが継続している。様々な場面での注意喚起や情報教育講演会等を実施し、生徒に対してはもちろん、保護者への啓発を続ける必要がある。

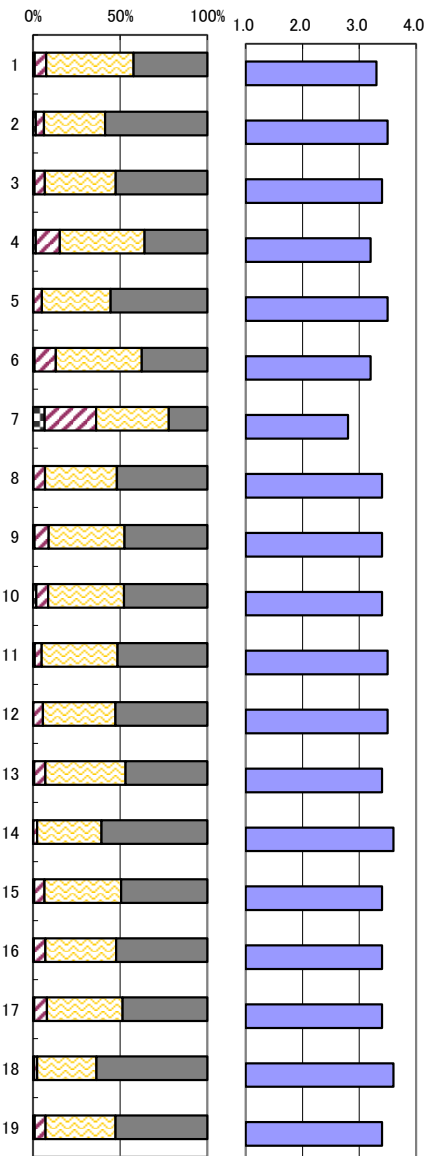
人権教育の推進	人権問題の正しい認識と差別をなくす実践力の育成	<p>◇地域の人権課題の実状を踏まえた人権意識の向上</p> <p>◇人権問題に関わる実践力を高めるための中高一貫6年間を見通した各学年の目標設定と取組</p>	<p>○部落差別をはじめ、あらゆる差別の解消に取り組む生徒を育成する。</p> <p>○職員一人一人が人権問題に関する基本的認識を踏まえ、主体的に人権教育を推進する。</p>	<p>・人権部落問題学習(1回)及び校内人権集会(2回)を実施するとともに、地域の子ども人権集会への参加を呼びかける。</p> <p>・八代地区人権同和教育・人権啓発研究集会(原則全員)及び現地研修会(新転任者及び希望者)に参加する。</p> <p>・人権教育通信を学期2回以上発行し、啓発を図る。</p>	<p>A</p> <p>・人権部落問題学習を各学年で実施し、生徒の人権意識の向上を図った。また、人権集会では、水俣病問題に関して深く学び、基本的な事実を再確認するとともに、問題の本質を自らの生き方と重ね考える場となった。</p> <p>・八代市の研究集会や、本校独自企画の現地研修会に参加し、部落問題に関して改めて学び直すとともに、自らの実践を振り返った。</p> <p>・人権教育通信を年間8回発行し、人権に関する啓発に努めた。</p>
	生徒が適切な教育上の支援を受けられる体制の整備	<p>◇個々の多様性(障がいの有無や性別の違いなど)を認識してお互いを支え合い、すべての生徒が生き生きとした学校生活を送るための取組</p>	<p>○支援を要する生徒の実態把握と職員間における共通理解に努め、生活や学習上の困難を改善または克服するため、適切な支援を図る。</p> <p>○合理的な配慮を明記した個別の教育支援計画及び指導計画を保護者、医療機関と連携して立てるとともに、進級や進学・就職に際し、引き継ぎを確実に進行。</p>	<p>・教育相談週間を設け、丁寧に生徒の状況を把握するとともに、授業時や学校生活の中でのかみ細やかな観察を通して情報収集をもとに、生徒理解研修を年2回実施する。</p> <p>・定期的に人権教育部会を開催し、情報共有を図るとともに、特別支援教育委員会を適宜開催する。</p> <p>・個別の教育支援計画及び指導計画を立て、それに基づき具体的な支援を進める。</p>	<p>A</p> <p>・学期ごとに生徒理解研修を開催し、生徒の情報を共有し、共通理解を持って生徒の支援を図った。また、教育相談週間や学年会、人権教育推進部会において生徒の情報交換を密に行い、支援状況の把握や教育支援計画の見直しなどに努めた。一方、特別支援教育委員会を適宜開催し、対象生徒に関して熟議し、支援計画を作成に基づいて保護者と連携して合理的な配慮を行った。</p>
	命を大切にすることを育む指導	<p>◇自他の生命を尊び、大切にしていこうとする態度の養成</p> <p>◇自らの在り方生き方を学び、夢や目標の実現に向けて努力する態度の育成</p>	<p>○すべての教員が学習活動において生徒の人権感覚を育む指導を行う。</p> <p>○社会貢献活動や自己研鑽活動を通し、生命や自然に対する畏敬の念を高める。</p>	<p>・自らの教科において人権教育と関連する学習内容を確認するとともに、人権感覚を高める学習指導を行う。</p> <p>・ボランティア活動や自己研鑽活動への積極的な参加を促す。</p>	<p>A</p> <p>・学年別の職員研修において、各自の人権問題に関する実践を交流し、日常的に部落差別をはじめとする人権感覚の向上に努め、人権意識を持ってすべての教育活動を行う重要性を改めて確認できた。</p> <p>・生徒自治会と連携して人権集会を開催し、「安心・安全」な学校づくりを訴えるとともに、人権意識の重要性を認識した。</p>
いじめの防止	いじめの予防と発生した際の早期発見と対応	<p>◇いじめを未然に防ぐための予防的取組</p> <p>◇いじめの早期発見と早期対応</p>	<p>○日常の授業や面談を通して生徒の状況を的確に把握し、生徒の言動や態度の変化を観察し、各学年部で情報を共有する。</p> <p>○定期的なアンケート調査により、いじめの早期発見に努める。</p>	<p>・学期に1回「心のアンケート」を実施し、いじめの防止・早期発見に努めるとともに、必要に応じていじめ防止対策小委員会を開催して情報共有と対応を話し合う。</p> <p>・学期に1回いじめ防止対策委員会を開催し、スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、実態把握と対応策を協議する。</p>	<p>B</p> <p>・日常的な二者面談をはじめ、学期に1回行う心のアンケートや教育相談週間において、生徒の実態把握を丁寧に実施するとともに、いじめ問題の早期解決のためにいじめ防止対策小委員会等を行い、個別の問題に迅速に対応した。</p> <p>・いじめ防止対策委員会を学期に1回開催し、アンケートの集計と各学年・各部署の取組を共有し、いじめの防止と対策に努めた。また、スクールカウンセラーや関係機関と連携し支援体制の構築を図った。</p>
地域連携(コミュニティ・スクールの活性化など)	コミュニティ・スクールの活性化	◇地域とともにある学校づくり	<p>○学校運営協議会を通して、スクール・ミッションやスクール・ポリシーをはじめとする目指すべき生徒像の共有を図り、地域と連携・協働した取組を推進する。</p>	<p>・「探究(総合的な探究の時間)」において、地域と連携した探究活動を実施する。</p> <p>・地域の理解と協力を得ながら、防災教育等を進め、生徒の安全・安心を確保する。</p>	<p>A</p> <p>・地域の方々の協力を得ながら探究活動に取り組むことができた。学校評価アンケートでも生徒97.6%、保護者85.2%が肯定的な回答である。</p> <p>・1学期に防災避難訓練を実施し、3学期には引き渡し訓練を実施する。</p>

令和6年度 学校評価 集計表 <生徒> (高校)

① 全く当て はまらない (1点)	② あまり当て はまらない (2点)	③ やや当て はまる (3点)	④ よく当て はまる (4点)	回 答 数	平 均	R 5 平 均
----------------------------	-----------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------	--------	------------------



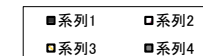
① 学校では、英語力を高める取組や、外国語資格取得に向けた支援が行われている。	1.0	6.6	50.1	42.3	577	3.3	3.3
② 学校では、ボランティアや社会貢献活動などの体験的活動への参加の紹介が行われている。	1.6	4.7	35.1	58.7	578	3.5	3.5
③ 学校では、「探究（総合的な探究の時間）」において、SDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指した活動が行われている。	0.9	5.9	40.7	52.6	578	3.4	3.5
④ 本校の教育活動や生徒の様子等を、学校ホームページやClassroomなどでタイムリーに発信し、本校の魅力を伝えている。	1.6	13.8	48.6	36.0	578	3.2	3.1
⑤ 学校では、生徒同士で学び合う場面の設定や、積極的にICTを活用した授業が行われている。	0.3	4.8	39.4	55.4	578	3.5	3.5
⑥ 学校では、生徒の学力を伸ばすため、授業改善等の工夫を行って来ている。	0.9	12.2	49.3	37.6	580	3.2	3.3
⑦ 私は、目標とする家庭学習時間を確保できている。	6.7	29.5	41.7	22.1	580	2.8	2.7
⑧ 学校では、総合的な探究の時間やLHRなどで、進路を考える学習活動が行われている。	0.3	6.6	41.2	51.9	580	3.4	3.4
⑨ 学校では、入試改革関連等の進路情報が提供されている。	0.9	8.1	43.5	47.5	579	3.4	3.3
⑩ 学校では、先生方の共通理解のもと、不公平感のない生徒指導が行われている。	1.9	6.8	43.5	47.8	577	3.4	3.3
⑪ 私は、日頃から服装の整美、時間厳守、挨拶を心がけている。	1.0	4.0	43.5	51.5	579	3.5	3.5
⑫ 学校では、交通安全についての啓発活動が行われている。	0.2	5.5	41.6	52.7	579	3.5	3.4
⑬ 学校では、情報モラルについて学ぶ機会がある。	0.7	6.4	46.0	46.9	580	3.4	3.5
⑭ 学校では、人権の大切さについて学ぶ機会がある。	0.2	2.2	36.9	60.7	580	3.6	3.6
⑮ 先生方は、生徒の悩みや相談に親身になって応じてくれる。	0.7	5.9	44.0	49.5	580	3.4	3.5
⑯ 学校では、命の大切さについて学ぶ機会がある。	0.5	6.6	40.6	52.3	579	3.4	3.6
⑰ 学校でのさまざまな活動において、いじめを防止する取組や配慮がなされている。	0.7	7.3	43.4	48.6	578	3.4	3.4
⑱ 「探究（総合的な探究の時間）」等において、地域と連携した探究活動が行われている。	0.7	1.7	34.0	63.6	579	3.6	3.6
⑲ 学校では、防災について学ぶ機会があり、また、防災避難訓練が実施されている。	1.0	6.2	40.1	52.6	578	3.4	3.5



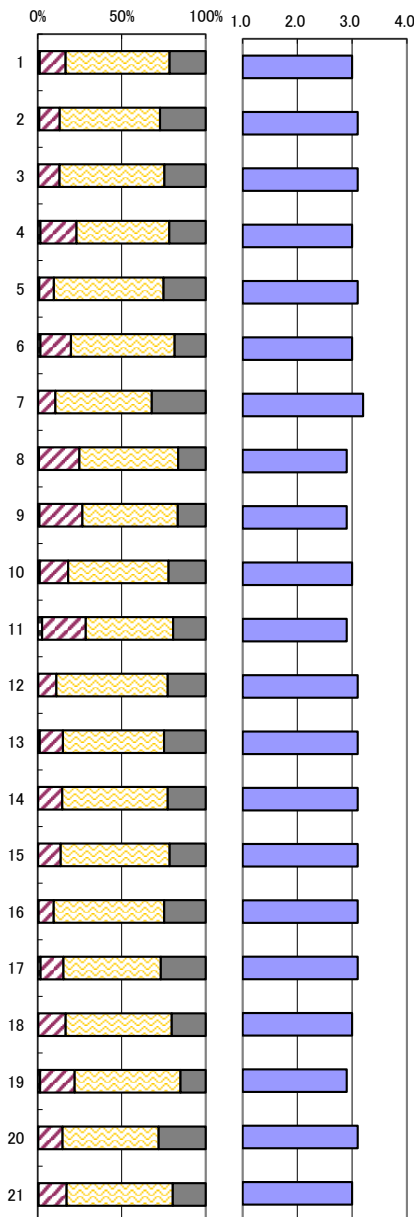
(%) (人) 3.4

令和6年度 学校評価 集計表 <保護者>(高校)

① 全く当て はまらない (1点)	② あまり当て はまらない (2点)	③ やや当て はまる (3点)	④ よく当て はまる (4点)	回 答 数	平 均	R 5 平 均
----------------------------	-----------------------------	--------------------------	--------------------------	-------------	--------	------------------



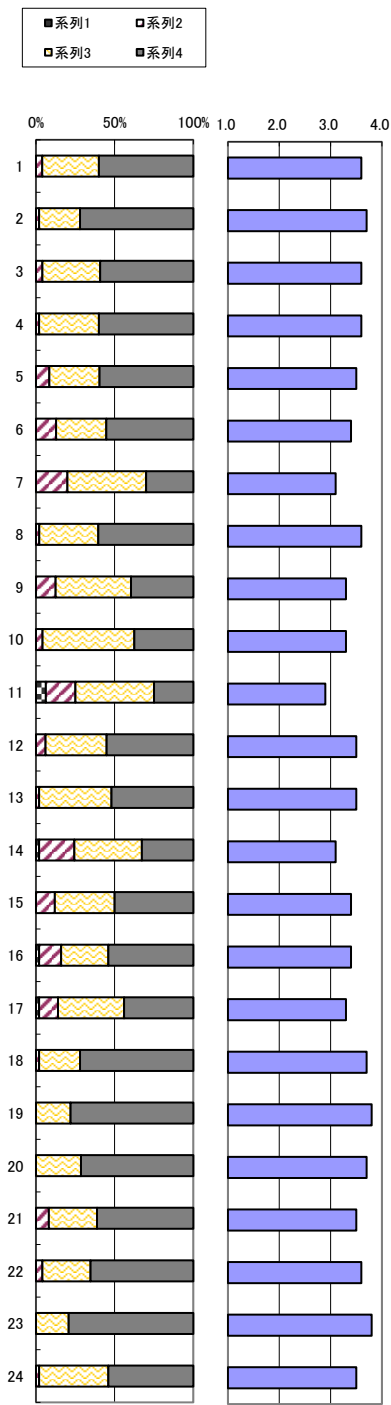
① 学校では、実践的英語力の育成のための取組や、外国語資格取得に向けた支援が適切に行われている。	1.2	15.4	61.9	21.5	577	3.0	3.0
② 学校では、ボランティアや社会貢献活動などの体験的活動への参加の紹介が行われている。	0.9	12.2	59.7	27.2	581	3.1	3.2
③ 学校では、「探究（総合的な探究の時間）」において、SDGs（持続可能な開発目標）の達成を目指した活動が行われている。	0.3	12.7	62.4	24.6	577	3.1	3.1
④ 本校の教育活動や生徒の様子等を、学校ホームページやClassroomなどでタイムリーに発信し、本校の魅力を伝えている。	1.6	21.5	55.2	21.7	576	3.0	2.9
⑤ 学校では、時間外の留守番電話対応など職員の勤務時間の適正化が図られていると感じる。	0.9	8.7	65.3	25.1	573	3.1	2.8
⑥ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の専門的人材が積極的に活用されている。	1.6	18.2	61.8	18.5	573	3.0	2.8
⑦ 学校は、保護者に授業参観や公開授業の機会を適切に設けている。	0.2	10.3	57.4	32.1	580	3.2	3.1
⑧ 学校は、生徒の学力を伸ばすため、授業改善等の工夫を行っている。	0.7	24.1	58.8	16.4	573	2.9	2.9
⑨ 学校は、生徒の学習意欲を喚起する取組を行っている。	1.0	25.6	56.8	16.6	574	2.9	2.8
⑩ 学校は、生徒が自らの進路について考える取組を行っている。	1.2	16.9	59.8	22.1	575	3.0	3.0
⑪ 学校では、入試改革関連等の進路に関する情報を保護者に適切に提供している。	2.6	26.0	52.0	19.4	573	2.9	2.8
⑫ 学校は、生徒の実態や人権尊重の立場から適切な校則を設けている。	0.3	10.8	66.3	22.6	575	3.1	3.0
⑬ 子どもは、日頃から服装の整美、時間厳守、挨拶をしている。	1.2	13.8	60.2	24.8	580	3.1	3.1
⑭ 学校では、交通安全についての啓発活動が行われている。	0.2	14.4	62.8	22.6	575	3.1	2.9
⑮ 学校では、情報モラルについて学ぶ機会がある。	0.2	13.5	64.9	21.5	572	3.1	2.9
⑯ 学校では、人権の大切さについて学ぶ機会がある。	0.5	9.0	65.7	24.7	575	3.1	3.0
⑰ 先生方は、子どもの悩みや相談に親身になって応じてくれる。	1.7	13.6	57.9	26.7	572	3.1	3.0
⑱ 学校では、命の大切さについて学ぶ機会がある。	0.3	16.3	63.1	20.2	575	3.0	2.9
⑲ 学校でのさまざまな活動において、いじめを防止する取組や配慮がなされている。	1.4	20.6	63.0	15.0	573	2.9	2.8
⑳ 「探究（総合的な探究の時間）」等において、地域と連携した探究活動が行われている。	0.3	14.5	57.2	28.0	572	3.1	3.1
㉑ 学校では、防災避難訓練や防災について学ぶ機会がある。	0.5	16.7	63.2	19.6	576	3.0	2.9



(%) (人) 3.0

令和6年度 学校評価 集計表 <教職員>(高校)

	① 全く当て はまらない (1点)	② あまり当て はまらない(2 点)	③ やや当て は まる (3点)	④ よく当て はまる (4点)	回 答 数	平 均	R 5 平 均	
① 学校は、実践的英語力の育成のための取組や、外国語資格取得に向けた支援を適切に行っている。	0.0	4.0	36.0	60.0	50	3.6	3.6	
② 学校は、ボランティアや社会貢献活動などの体験的活動への参加の紹介を行っている。	0.0	2.0	26.0	72.0	50	3.7	3.7	
③ 学校は、「探究(総合的な探究の時間)」において、SDGs(持続可能な開発目標)の達成を目指した活動を行っている。	0.0	4.1	36.7	59.2	49	3.6	3.6	
④ 本校の教育活動や生徒の様子等を、学校ホームページやClassroomなどでタイムリーに発信し、本校の魅力を伝えている。	0.0	2.0	38.0	60.0	50	3.6	3.6	
⑤ 近隣中学校への訪問活動(八高魅力発信プロジェクト等)を行い、中学校との情報共有を行った。	0.0	8.5	31.9	59.6	47	3.5	3.6	
⑥ タイムカード等による勤務時間の適正管理、管理職や産業医による面接体制が整っている。	0.0	12.8	31.9	55.3	47	3.4	3.4	
⑦ Googleアプリを活用した情報共有により、業務効率化が図られている。	0.0	20.0	50.0	30.0	50	3.1	2.9	
⑧ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、部活動指導員等の専門的人材が積極的に活用されている。	0.0	2.1	37.5	60.4	48	3.6	3.5	
⑨ 学校は、授業力向上のための教科等研修会に参加する機会を適切に提供している。	0.0	12.5	47.9	39.6	48	3.3	3.2	
⑩ 私は、職員間の授業見学や生徒による授業評価等を通して、授業改善に取り組んでいる。	0.0	4.2	58.3	37.5	48	3.3	3.3	
⑪ 私は、宅習時間調査の結果を、家庭学習や読書等の指導に活用している。	6.3	18.8	50.0	25.0	48	2.9	2.9	
⑫ 学校は、総合的な探究の時間やLHRなどを通して、進路を考える学習活動を計画的に行っている。	0.0	6.1	38.8	55.1	49	3.5	3.3	
⑬ 学校は、入試改革関連等の進路情報を生徒及び保護者に対し適切に提供している。	0.0	2.0	46.0	52.0	50	3.5	3.3	
⑭ 職員の共通理解を図り、学校として統一した生徒指導が行われている。	2.0	22.4	42.9	32.7	49	3.1	3.1	
⑮ 私は、日頃から服装の整美、時間厳守、挨拶を指導している。	0.0	12.0	38.0	50.0	50	3.4	3.2	
⑯ 学校は、交通安全についての啓発活動を行っている。	2.0	14.0	30.0	54.0	50	3.4	3.3	
⑰ 学校は、情報モラル教育を計画的に行っている。	2.0	12.0	42.0	44.0	50	3.3	3.3	
⑱ 学校は、生徒及び職員の人権意識の高揚を図る取組を適切に行っている。	0.0	2.0	26.0	72.0	50	3.7	3.6	
⑲ 生徒理解研修等を通して、支援を要する生徒の実態把握と共通理解が図られている。	0.0	0.0	22.0	78.0	50	3.8	3.7	
⑳ 個別の教育支援計画及び指導計画をもとに、必要な支援を適切に行っている。	0.0	0.0	28.6	71.4	49	3.7	3.6	
㉑ 学校では、命を大切にすることを育む教育を適切に行っている。	0.0	8.2	30.6	61.2	49	3.5	3.5	
㉒ 学校でのさまざまな活動において、いじめを防止する取組や配慮がなされている。	0.0	4.1	30.6	65.3	49	3.6	3.5	
㉓ 学校は、「探究(総合的な探究の時間)」等において、地域と連携した探究活動を推進している。	0.0	0.0	20.8	79.2	48	3.8	3.7	
㉔ 学校では、防災に関する取組を計画的に行っている。	0.0	2.0	44.0	54.0	50	3.5	3.7	



(%) (人)